つながり みなみ

発行日　平成２９年７月２０日

No.５

「やった！」「できた！」を積み重ねよう
よく頑張った一学期…そして夏休みへ

校長　宮　居　　伝

明日から、いよいよ夏休みに入ります。子どもたちは、この一学期間、実によく頑張りました。毎日の生活の中では、大きな変化は感じられなくても、新しい学年になった４月当初から今を比べると、確かな成長が実感できるのではないでしょうか。

４月１０日の始業式で、わたしは子どもたちに、

□よく学び よく遊べ（いっぱい勉強して いっぱい遊んでほしい）
□あいさつが響く能登川南小学校（「ありがとう」「ごめんなさい」なども素直に言える人に）
□やさしさやおもいやりがいっぱいの能登川南小学校
（新しい出会いを大切にして 一人でも多くの友達となかよくなろう）

という願いを伝えました。

けっして、大きなことをしてほしいということではなく、毎日の生活のなかで、小さな「やった」「できた」（時には小さな失敗）をいっぱい経験してほしいということです。そして、そのためには**「ちょっとの我慢や粘りが大切です」**という言葉を伝え、子どもたちの指導にあたってきました。

どれだけの子どもたちが意識していてくれたかはわかりませんが、節目節目で見せてくれた子どもたちの姿や日々の学習・生活ぶりからは、確かな成長を感じています。

また、学校生活のなかでは、**人間関係を築くことの大切さや心地よさ、その術を学んでいってほしい**、そしてまた、**そのための取組や私たち大人の関わり方も重要である**との思いを持って接してきました。子どもたちの表す姿は一人ひとり異なりますが、集団生活（小さな社会）だからこそ体験できること、学べることを、引き続き大切にしていきたいと考えています。

さて、明日から夏休み。子どもたちが、この夏休みにも「やった！」「できた！」を、ひとつでも多く体験してくれるよう期待しています。

最後になりましたが、この一学期間、保護者のみなさまや地域の方々に、多くのご支援ご協力をいただきましたことに、心より感謝申しあげます。ほんとうにありがとうございました。

７月には こんな体験もしました！

自転車教室
自転車走行時の模擬体験

情報モラル教育
専門家の方から詳しいお話をお聞きしました

南極の氷
南極観測隊に同行し越冬された新聞記者の中山さんからお話をお聞きしました

子どもたちが地域でお世話になります！よろしくお願いいたします！

子どもたちは夏休みに入り、地域で過ごす時間が多くなります。夏休みだからこそできる貴重な体験や学びをしてくれることと期待しています。

＊子どもたちが、夏休みを、楽しく安全に、そして健全に過ごしてくれますよう、引き続き、「目配り・声かけ」をよろしくお願いいたします。

＊子どもは未来の、そして地域の宝もの。この大切な宝ものを育てるために みなさまのお力添えをよろしくお願いいたします。